

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用予定者調査(2023年4月調査)】

I 調査の概要

今後5年以内に住宅ローンを利用して住宅を取得する計画がある方を対象とし、希望する住宅ローンの金利タイプ、住宅取得に向けた意識や行動等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

(参考) 調査実施時期：2023年4月28日～5月10日、回答数：1,500件

II 調査結果の主なポイント

〈〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 希望する金利タイプは、「変動型」「固定期間選択型」「全期間固定型」で概ね同程度の割合で推移 〈p. 3〉

- ・「変動型」：38.3% (2022年10月調査34.5%)
- ・「固定期間選択型」：33.1% (同35.7%)
- ・「全期間固定型」：28.7% (同29.7%)

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しは、「現状よりも上昇する」が約5割 〈p. 4〉

〈今後1年間の住宅ローン金利見通しについて(全体)〉

- ・「現状よりも上昇する」：48.2% (2022年10月調査48.3%)
- ・「ほとんど変わらない」：26.5% (同27.1%)
- ・「現状よりも低下する」：8.1% (同8.4%)
- ・「見当がつかない」：17.3% (同16.1%)

3 住宅の買い時意識は、「買い時だと思う」が28.0%となり前回から微増 〈p. 6、p. 7〉

〈今(今後1年程度)の住宅の買い時意識〉

- ・「買い時だと思う」：28.0% (2022年10月調査26.7%)
- ・「買い時だと思わない」：31.9% (同32.0%)
- ・「分からない」：40.1% (同41.3%)

〈買い時だと思う理由〉

- ・「住宅ローン金利が低水準だから」：71.0% (2022年10月調査71.0%)
- ・「税制のメリットが大きいから」：27.1% (同28.8%)
- ・「住宅価格が安くなったから」：19.8% (同22.5%)
- ・「金融緩和政策が継続しているから」：19.5% (同20.3%)
- ・「住宅取得促進策が実施されているから」：17.6% (同14.5%)
- ・「その他」：2.6% (同3.0%)